

### 本市独自の緊急雇用対策 新たな取り組みの内容とその効果は

**問** 本市では、平成16年から、議員報酬の削減分等を積み立てた「雇用支援対策基金」によって、「常用雇用助成金」の支給などを実施してきた。

さらに、これらに加え、現下の厳しい社会情勢に対応するため、新たに「試行雇用助成金の支給」や「夜間職業訓練」に取り組むこととして

いる。そこで、新たな取り組みの具体的な内容と効果をどのように見込んでいるのか、また、本市独自の雇用対策の更なる拡充についての考えがあるのか伺う。

**答** 試行雇用助成金

については、就職が困難な人を試行的に雇用する事業主に対して、最長3か月間、1人6万円を限度として助成を行うものであり、求職者の就業機会の拡

大や、企業の雇用促進が図られるものと考えている。

また、夜間職業訓練については、非正規労働者に、夜間や休日に訓練を無料で提供し、資格取得や職業能力の向上を図る事業であり、雇用機会の拡充につながるかと考えている。

次に、本市独自の雇用対策の拡充については、国の「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」などの活用を図り、新たな雇用機会を創出し、失業者に対する就業機会の確保を図っていく。



### 奈坪川の長期整備計画 改修完了までの水害防止対策を

**問** 御幸が原地内に大きな雨水貯留管が敷設されたが、放流先の河川である奈坪川が未整備であるため、放流を行うことができず、結局、道路の冠水による通行止め、床上・床下浸水が起り、歩道はひざ下まで雨水が覆いかぶさる状況にある。

奈坪川の改修工事は下流から行うため、御幸が原環状線まで20年かかるというが、次の2点について伺う。  
①整備計画と現状は。  
②改修工事が完了するまでの間の水害防止対策は。

**答** ①平成20年度に

下川俣町地内から下栗町地内までの延長約9.3kmを、事業期間20年、全体事業費14億円で、整備する計画を策定した。

また、20年9月に東町住民に説明会を開催



▲奈坪川

したほか、本年1月には、駅東地区のトンネル河川工事に着手するとともに、奈坪川周辺地区の現況調査・設計を実施している。

②既存の調整池の機能向上に努めるほか、<sup>※</sup>浚渫や板柵等の維持管理を行うとともに、大雨などの緊急時には、土のう積み等により溢水被害の軽減を図る。また、新たな調整池についても検討していく。

#### 【用語注釈】

浚渫（しゅんせつ）  
河床などの堆積した土砂を、水深を深くするために掘削すること。

### 小中一貫教育の円滑な導入に向け モデル地域学校園での先行実施へ

**問** 本市の小中一貫教育の実施に関し、

次の3点について伺う。  
①平成22、23年度にモデル地域学校園で先行実施されるが、学校運営や子ども達に不具合が生じた場合、計画自体を見直し、再検討する考えはあるのか。  
②教員が、小中どちらの学校も勤務校であるとの意識を持ち、教育に当たるべきと考え

るが、小中学校兼務の辞令を発令してはどうか。  
③小学校での授業時間数の増加や、教科担任制導入に向け、中学校並みの教員配置が必要と考えるが、どうか。

**答** ①本市では17年

度策定の「学校教育推進計画」に基づき、カリキュラムの基礎研究などを行い、20年3月には、小中一貫教育の理念や内容を位置付

けた「学校教育制度基本計画」を策定した。この計画に基づき、22年度にモデル地域学校園で先行実施する中で、交流や学習に係るシステムなどを構築し、24年度より全市で実施していく。

②現在、教職員の任命権者である県と、兼務発令の協議を行っていると

③授業時間数は、国の標準時数に15から20時間程度増加させ、また、小学校5年生から一部教科担任制を導入することなどから、小中一貫教育の目標が達成できるよう教職員の配置に努めていく。

